

# まえがき

森林は、県土の保全、水源のかん養、生物多様性の保全など私たちの暮らしに恵みをもたらす様々な機能を有しています。中でも近年、地球温暖化防止に寄与する森林の二酸化炭素吸収機能が注目されるとともに、これまでの化石燃料主体のエネルギー利用から有機性燃料である木質バイオマスへの移行等の「低炭素社会」の現実に向けた木材の新たな活用が益々期待されているところです。

しかしながら、県産材需要や木材価格の低迷等により森林所有者の森林への意識の低下や林業就職者の減少・高齢化が進んでいるなど、森林づくりを取り巻く情勢は依然として厳しい状況にあります。

このような現状の中、平成22年度から5年間を計画期間とする福島県農林水産業振興計画「いきいき ふくしま農林水産業振興プラン」がスタートし、森林の持つ多面的機能の更なる発揮や林産物の安定供給と収入確保のための林業・木材産業の再生に向けた様々な施策を展開することとしています。

本書は、本県の森林・林業・木材産業全般の現状、各種施策、事業の実績及び推移を平成20年度を中心に取りまとめたものです。

本書作成の意義をご理解いただき、関係各位が広く活用され、今後の森林・林業・木材産業の発展のため役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本書を作成するにあたり、資料の提供についてご協力いただきました関係機関の方々に厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

福島県農林水産部長 鈴木 義 仁